



United Nations  
Educational, Scientific and  
Cultural Organization



伝統と歴史あるリアス海岸の入り江

たじまみほのうら

# 但馬御火浦コース



リアス海岸の入り江にある集落「三尾」。集落に続くトンネルを抜けると眼前に雄大な風景が広がります。かつては海上からしか容易にアクセスできなかったこの地域には、数多くの伝説や美しい自然の風景が残されています。



## 御火浦村おこしグループ

地域をもっと元気にするために、三尾に住むおばちゃんたちがワカメの採集、加工、販売などを行っています！

**クイズ!**  
三尾のワカメはなぜおいしい?  
(答えは裏面を読んでね!)

基本コース	
スタート (小三尾バス停)	*時間は 徒歩
①小三尾の石仏群	15分 ↓ 1km
②トンネルと三尾の風景	15分 ↓ 1km
③三柱神社	5分 ↓ 300m
④展望公園	5分 ↓ 150m
⑤影岩稻荷	10分 ↓ 300m
⑥長崎鼻と恵比寿神社	↓
⑦三尾大島と厳島神社 (長崎鼻からの眺望)	10分 ↓ 300m
⑧八柱神社	↓
総移動時間1時間	
全行程約3km	

## 足を延ばして

スタート	*時間は徒歩
⑧八柱神社	25分 ↓ 1.5km
⑨不老の水	5分 ↓ 300m
⑩展望台から見る鋸岬	25分 ↓ 2km
三尾バス停	

**オスメ**

**⑦三尾大島と厳島神社**

**スナヂ**  
展望公園からは、日本海が開くころにできたしましまの地層やマグマの通り道「岩脈」を見ることができます。

**通り戸**

**⑥長崎鼻と恵比寿神社**

**マグマの通り道: 岩脈群**

**旭洞門越しに見る朝日**

**御火浦海上タクシー**  
TEL./0796-82-5757  
営業時間/10:30・13:30の2便運航  
※天候により欠航する場合があります。  
※3人乗り船、4人乗り船があります。

**スナヂ**  
お弁当食べるならココ!

**④展望公園**

**通天洞門**

**象岩**

**屏風岩**

**①小三尾の石仏群**

**③三柱神社**

**⑤影岩稻荷**

**②トンネルと三尾の風景**

**⑨不老の水**

**⑩展望台から見る鋸岬**

**凡例**

- トイレ
- 駐車場
- 説明看板
- 道順
- 絶景スポット
- 畑
- 足元注意
- 交通安全確認
- 基本コース
- 足を延ばして

三尾地区で今も伝承されている麒麟獅子舞は県の重要無形文化財に指定されています。また、影岩稻荷には豊漁を告げる狐の伝説があるなど、昔話や伝説もたくさん残されています！

美しい自然を守るために、石や植物は観察するだけにしましょう。  
危険な場所や立ち入り禁止の場所には入らないようにしてください。  
持って帰るのは楽しい思い出と写真、そして地元のおみやげ！！

**みほりんみほ**



# みどころいっぱい！但馬御火浦

【公共交通について】 ●平日のみ浜坂駅から三尾まで行くバスがあります(平成29年4月現在)。(問)全但バス株式会社 (0796) 92-0137 ●浜坂駅前にタクシーがあります。

①小三尾の石仏群



江戸時代、近くの寺にあった地蔵たちが雪崩や土石流によって流されました。ここにあるのは村人たちが浜や海中から見つけ出した48体です。大きな地蔵は又右衛門地蔵です。明治時代、村人たちが健康や病気平癒を祈るために、又右衛門が建立しました。

②トンネルと三尾の風景



三尾地区の入り口に昭和27年に完成した旧三尾トンネルと昭和57年に完成した新三尾トンネルが並んでいます。このトンネルができるまでは三尾はいわば陸の孤島でした。トンネルを抜けると三尾大島が浮かぶ雄大な景観が眼前に広がります。

③三柱神社



小三尾の氏神社で、拝殿の天井に人、動物、花鳥の絵馬100枚と、弊殿通路には龍の絵馬があります。参道には不思議な模様をした流紋岩(火山岩)の鳥居跡が残されています。祭りには御輿、麒麟獅子舞が奉納されます。

④展望公園



ここからは小三尾や三尾大島付近の景色を一望できます。また、伝説や昔話を記した看板が立てられています。展望台正面の「スナヂ(表面地図参照)」には、日本海が開き始めた時に湖にたまたしましまの地層と、それを切るマグマの通り道「岩脈」が見えます。

⑤影岩稻荷



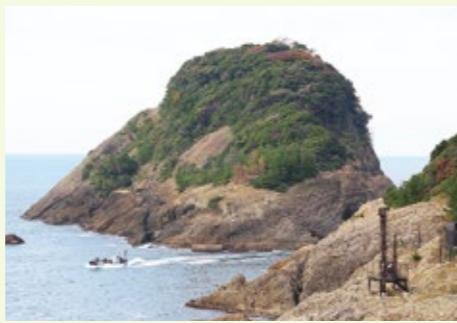
漁業の神様として村人から信仰されてきた神社で、岩窟内に檜づくり神祠が建てられています。この岩は日本海が開き始める2000万年前ころ、火山活動によってできた凝灰岩(火山灰が固まった岩)です。ここには狐が豊漁を告げた伝説なども残されています。

⑥長崎鼻と恵比寿神社



三尾大島と同じ縦の割れ目模様(柱状節理)が美しい流紋岩の岩山です。波打ち際にはマグマの通り道「岩脈」があります。大島との間は「通り戸」と呼ばれ、大きな魚が釣れます。神社には蛭子命(ひるこのみこと)を祀り、漁業の守護神として村人の信仰を集めてきました。

⑦三尾大島と巖島神社



縦の割れ目模様(柱状節理)が美しい流紋岩の岩山です。かつては長崎鼻とつながっていましたが、波などによって間が削られ島になりました。島の奥には弁財天を祀った巖島神社があり、海の神、航海安全の神、運輸交通の神として信仰されています。

⑧八柱神社



大三尾の氏神社で、スサノオノミコトが祀られています。平家のぼりと同じ「赤いのぼり」が伝わっており、中段には五輪塔や宝篋印塔(ホウキョウイントウ)などが多数祀られています。祭りには御輿、麒麟獅子舞が奉納されます。

⑨不老の水



岩盤の割れ目から澄んだ水が湧き出しています。豊かな森がダムの役割をしているので、一年を通じて水が枯れません。周辺の岩は、日本海が開き始める2000万年前ころの火山活動で流れ出た溶岩などで、かつてここに大きな火山があった証拠です。

⑩展望台から見る鋸岬

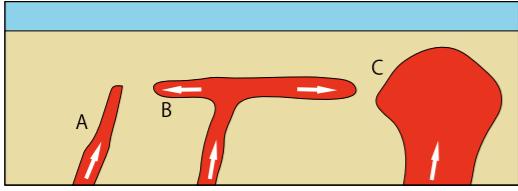


北に突き出た鋸岬は、地層に板状に入った硬い岩が削り残され、屏風のようになったものです。この岩は、マグマがバリバリに割れながら地下の割れ目を通り固まってできました(火碎岩脈)。突き出た尾根が、鋸に似ていることからこの名がつけられました。岬の中央部には海食洞「旭洞門」があります。

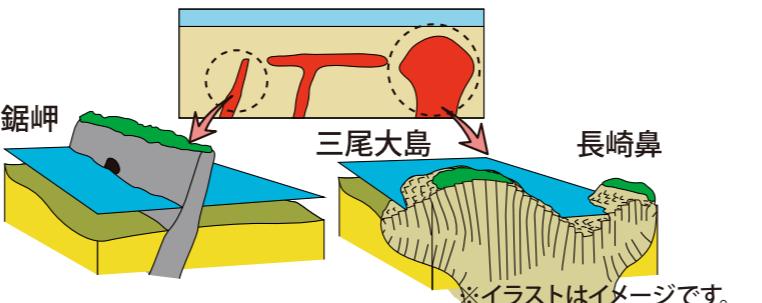
## ジオコラム①

### マグマが地面に入り込んできた？三尾大島と鋸岬の形の違い

但馬御火浦を代表する景勝ポイント「鋸岬」と「三尾大島」。実は、このどちらもがマグマが地中に入り込んで固まりました。でも、片や屏風のように立っていて細く長い岬で、片や饅頭みたいに丸い島。何故これ程様子が違うのでしょうか？これは、マグマの入り込み方の違いによって生じています。鋸岬は、地面の割れ目にそって縦にマグマが板状に上ってきました。一方、三尾大島は地面の中にドームみたいにマグマが押し込まれました。マグマが冷えて固まった火山岩は硬く、長い年月の中で周りのやわらかい地層が風雨や波で削られ、岬や島になりました。



マグマが地面に入り込む時の代表的な形(断面図)



鋸岬は岩脈、三尾大島は潜在ドームと考えられる  
※三尾大島の縦の割れ目模様はマグマが冷えて固まるときに  
マグマの冷却面と垂直方向にできる(柱状節理)

- A. 地面の割れ目などに沿って縦にマグマが入り込む。→岩脈(がんみやく)
- B. 地層の面にほぼ平行にマグマが入り込む。→岩床(がんじょう)
- C. 地面の中にドーム状にマグマが入り込む。  
→潜在ドーム；潜在円頂丘(せんざいドーム；せんざいえんぢょうきゅう)

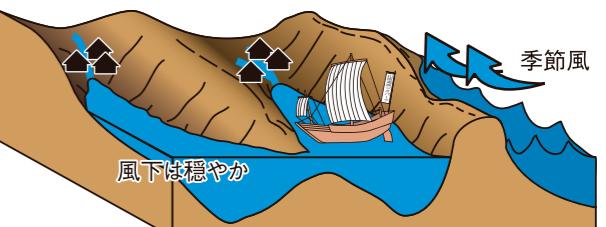
## ジオコラム②

### リアス海岸の入り江、三尾

リアス海岸の入り江は、風や波が入りにくく天然の良港になります。その奥の、川のあるなだらかな土地は、昔から人の生活の場として活用されてきました。



入り江は天然の良港に



リアス海岸の海は岩肌が露出している場所が多く、そこに生える海藻の周りは貝や魚たちの住処となっています。周辺の森は豊かな森があり、栄養がたくさん海に流れ込む。海がきれいで太陽の光が十分降り注ぐ。岩場が多く根をはりやすいなど、ワカメの生育に良い条件がたくさんあります。

## クイズの答え

周辺に豊かな森があり、栄養がたくさん海に流れ込む。海がきれいで太陽の光が十分降り注ぐ。岩場が多く根をはりやすいなど、ワカメの生育に良い条件がたくさんあります！